



有馬川の自然と祭りなどの伝統文化が息づく、山口。古民家や棚田などが残る美しい里山、船坂。蘭学と和紙の里、名塩。六甲北麓の緑の恵みの中で、特有の生活文化を織りなしてきた北部地域。語り継がれる伝説や貴重な文化遺産の数々に、歴史ロマンを感じずにはいられないエリアです。



ぶらっとウォーク 西宮探訪MAP5

山口～船坂～名塩・生瀬

さくらやまなみバス

山口村(現・山口町)が西宮市と合併したのは昭和26年(1951)。その時から南北の交通は大きな課題で、盤滝トンネル(西宮北有料道路)開通などの道路整備の後、南部市街地と山口地域を直通で繋ぐ交通機関がなく、他市にまたがるバスと電車を乗り継ぐ必要がありました。そんな不便を解決する待望の路線バスとして、平成21年(2009)4月1日から定期運行されたのが『さくらやまなみバス』。運行ルートは、西宮北口から阪急夙川駅までの各線各駅を通り北上。盤滝トンネルを抜けた舟坂橋から北へ進み、金仙寺湖を通る「金仙寺系統」と、舟坂橋から有馬街道(宝塚唐櫃線)を西へ抜け、有馬温泉を経由する「有馬系統」の2系統があり、山口町内を網羅しています。



市民の足としてだけでなく、沿線は文化と自然が織りなす見どころも多数。市街地から山間部へと移り変わる景色を眺めながら、小旅行気分が味わえます。



有馬街道

有馬街道は大阪や神戸から有馬温泉へ至る街道の名称で、歴史的には複数のルートが同じ名で呼ばれています。その中で最も歴史が古く、太閤秀吉をはじめ、貴族や武家が往来したといわれるのが、現在の県道51号(宝塚唐櫃線)。ですが、当時は生瀬から船坂までの道は太多田川の溪谷。ここを通行する人々はこの瀬を左右にとび越えつつ進むので「四十八カ瀬」と呼ぶ難所でした。交通のさまたげになると、弘法大師が山腹に投げ上げたという「しるべ岩」。目の不自由な僧(座頭)が道に迷い亡くなったことから呼ばれる「座頭谷」。その話を聞いた秀吉が座頭を憐れみ、しるべ岩に「右ありま道」と書き示したなど、さまざまな伝説や逸話が残っています。



西宮船坂ビエンナーレ

かやぶき屋根の古民家や棚田、木造の校舎や竹林の小路など、美しい里山の風景が今なお残る山口町船坂。この小さな集落の人々の生活そのものをキャンバスに、国内外の現代アートの作家がいろいろな趣向の作品を展示し、5週間にわたり開催されるのが『西宮船坂ビエンナーレ』です。ビエンナーレとは2年に一度開かれる美術展覧会の総称で、船坂では平成21年(2009)のプレ開催が話題となり、翌年から正式に隔年秋に開催されることとなりました。茜色に染まる秋の日、ビエンナーレを通じて様々な人が集い、新しい輪が生まれ広がっています。



名産品



「名塩和紙」

原料に野生の雁皮のみを使い、微粒子の泥を入れて漉く、他には例をみない特性の和紙。その特性から廣物が作りにくく、江戸時代には箔打紙、藩札などの用途に広く使われていた記録も残る。国の重要無形文化財。兵庫県伝統工芸品。

D-4

谷徳製紙所

重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された谷野武信さんの制作現場。事前予約で見学可。
TEL.0797-61-0224
名塩2-2-23
10:00～17:00

D-4

名塩和紙学習館

名塩和紙の歴史を学んだり、紙すき体験ができる。体験は有料。10～40人の団体で利用希望月の2ヶ月前の初日から月末までに要予約。

TEL.0797-61-0880 名塩2-10-8 見学無料
9:00～17:00(入館～16:00) 休:月曜、年末年始



みんなで和紙を手づくり!

体験

まだまだあります! 必見スポット

B-3 明徳寺

本尊の阿彌陀如来立像(国・重文)は鎌倉時代後期のもので快慶の作と伝えられる。
TEL.078-904-0609
山口町上山口1-4-5
※本尊の拝観は要連絡

B-4 山口町郷土資料館

山口町の歴史を伝える数多くの資料や文化遺産を収集保存し、見やすく展示。
TEL.078-904-3451
山口町上山口2-11-27
10:00～16:00(入館～15:30)
休:土・日曜、祝日、年末年始

F-3 木之元地藏尊木元寺

ご本尊は火事から赤ん坊を守ったとの伝説から「火伏せ地藏」とも呼ばれている。
TEL.0797-61-0902 名塩木之元21-1

E-4 塩瀬中央公園

新市街地のオアシス。斜面を利用した、自然と緑豊かな運動公園。
TEL.0797-62-2565(塩瀬体育館)
東山台5

温泉



E-6

武田尾温泉

江戸時代に名塩の武田尾直蔵が発見したと伝えられる温泉地。武庫川を挟んで西宮と宝塚にまたがり、現在4軒の宿がある。優れた渓谷美と、桜や紅葉でも知られ、名物のぼたん鍋をはじめ、四季の風情と味覚が楽しめる。日帰り入浴できる旅館もあり。



お問い合わせ:西宮市・西宮観光協会 TEL.0798-35-3321
発行:平成24年4月

<http://nishinomiya-kanko.jp>